

取扱説明書
OPERATION MANUAL

バルク貯槽用付属機器

バルク貯槽用
安全弁用連結弁（元弁）

CNV-20

CNV-25

CNV-40

はじめに

この度は、バルク貯槽用安全弁用連結弁（逆止弁）**CNV-20、CNV-25、CNV-40**をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本書は、バルク貯槽用安全弁用連結弁（逆止弁）**CNV-20、CNV-25、CNV-40**の取り扱いについて説明いたします。

本製品を正しくお使いいただけるよう、ご使用前に必ず本書をお読み下さるようお願い申し上げます。

お願い

- LPガス設備の安全確保に万全を期すため、工事を始める前に本書を必ずお読み下さい。
- 本書はお読みになった後も大切に保管して下さい。
- 本書は改良のため予告無く内容を変更する場合があります。予めご了承下さい。
- 間違った使い方をされますと、故障や事故の原因となることがあります。十分にご注意ください。
- 高圧ガス関連法規・基準、及び省令補完基準に関する法律等に定められた基準を厳守して下さい。
- 設備工事に際しては、関連法規に定める資格者が実施してください。
- 本製品の採用をご検討の際は、通常予測される故障を考慮して、貴社製品・設備の安全設計を行って下さい。
- 当社の定めた使用、保管等に関する諸条件を厳守して下さい。
- 本製品の欠陥が、生命や身体への危害や物的損害を発生させる恐れの高い製品（原子力制御、鉄道、航空、車両、燃焼装置、医療機器、娯楽機械、安全機器等）等、特に安全性が要求される用途への使用をご検討の場合は、定格・性能等に対して余裕を持った使い方やフェールセーフ等の安全対策へのご配慮をお願いいたします。
- 万一、本製品の不具合に起因して貴社製品が事故を起こしたときは、当社営業担当者まで直ちにご連絡下さい。
- 本製品を安全にご使用いただくために、厳格に守っていただきたい事項を記載している箇所には、下記のようなシンボルマークをつけてありますので、特に注意してお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

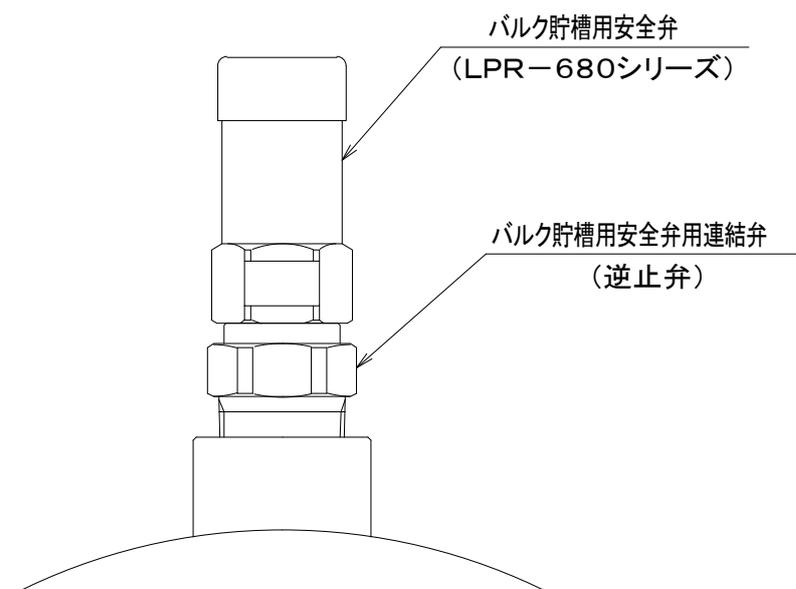
目次

はじめに	1
目次	2
1 構造	3
1.1 概要	3
1.2 仕様	4
2 取付及び操作方法	5
2.1 ネックリングの形状.....	5
2.2 取付方法.....	6
2.3 操作方法.....	6
3 交換方法	7
4 保守・点検	7

1 構造

1.1 概要

本製品(以後連結弁という)は、バルク貯槽に取り付けられ、バルク貯槽用安全弁(LPR-680シリーズ)の元弁として使用されます。



1.2 仕様

製品仕様

型式		CNV-20	CNV-25	CNV-40
設計圧力		1.8MPa		
設計温度		-10~70℃		
耐圧試験圧力		2.7MPa		
気密試験圧力		1.8MPa		
ボディ材質		C3771B		
取付ねじのサイズ	貯槽取付部	R1 ¹ / ₄	R1 ¹ / ₂	R2
	安全弁取付部	G ³ / ₄	G1	G1 ¹ / ₂

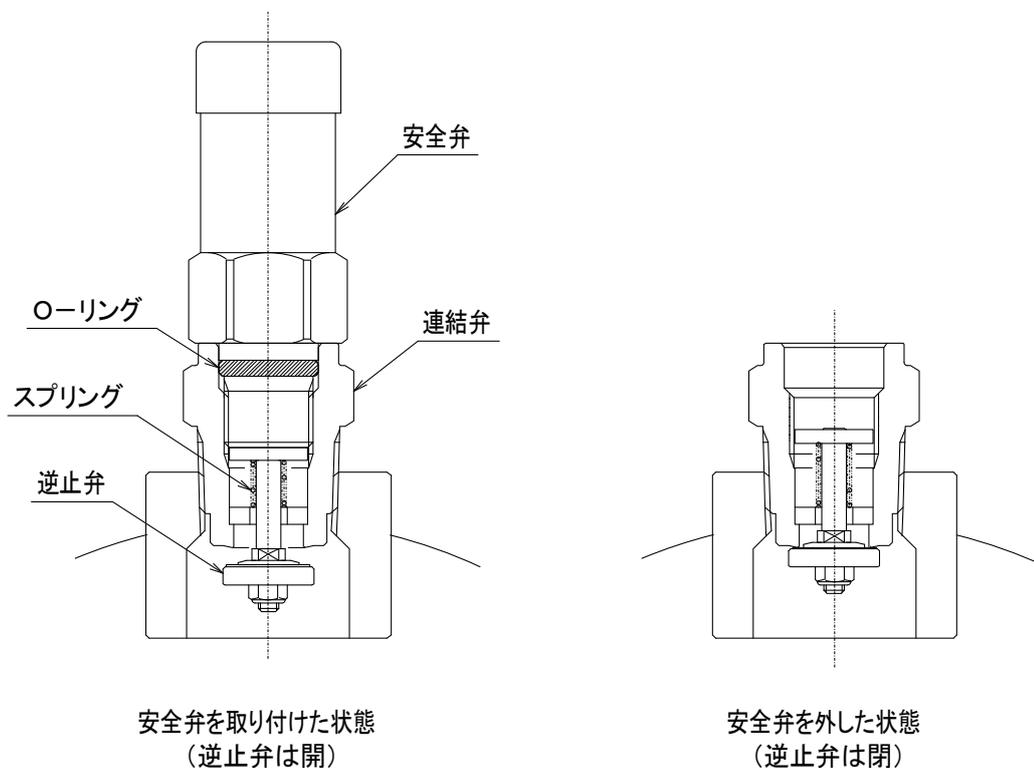


注意

これは標準仕様です。使用範囲が本仕様と異なる場合は、ご注文成約時の図面に記載されている仕様及び検査成績表の内容と照合し、仕様の範囲内であることを確認した上でご使用下さい。

機能

- ① 連結弁と貯槽との接続部は、管用テーパねじにより気密を保持します。
- ② 連結弁と安全弁の接続部は、Oリングにより気密を保持します。
- ③ 連結弁は、安全弁を取り付けたときのみ逆止弁が開き、安全弁を外した状態では、スプリングの力及び貯槽内圧により逆止弁が閉止する構造となっています。

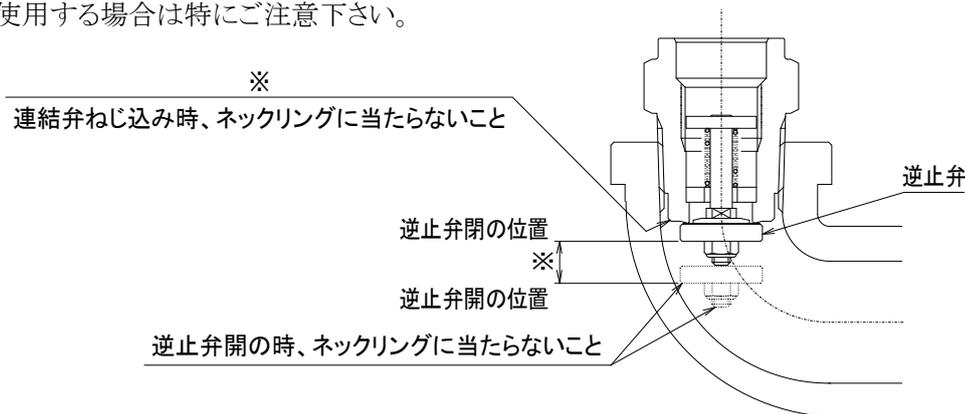


2 取付及び操作方法

2.1 ネックリングの形状

連結弁取付用ネックリングは、次の内容に基づき準備してください。

- (1) 取付ねじは、JISB0203「管用テーパねじ」として下さい。また、取付ねじの有効ねじ部長さは基準長さ以上として下さい。
- (2) ネックリング内部は、連結弁の取付け、および逆止弁の開閉動作を阻害しない寸法、形状として下さい。エルボを使用する場合は特にご注意下さい。



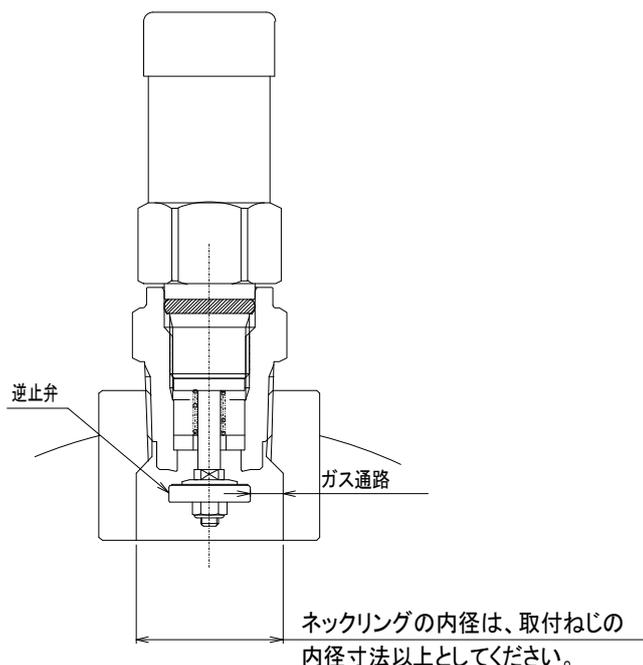
※印部の寸法は、連結弁の納入図面をご参照下さい。



注意

ネックリング内部の深さは、連結弁ねじ込み深さのバラツキも含め、逆止弁開の時の最大深さ寸法を確保して下さい。ネックリング内部が浅い場合、安全弁を連結弁にねじ込んだとき(逆止弁が開くとき)、逆止弁がネックリングに当たり、逆止弁を破損する危険性があります。

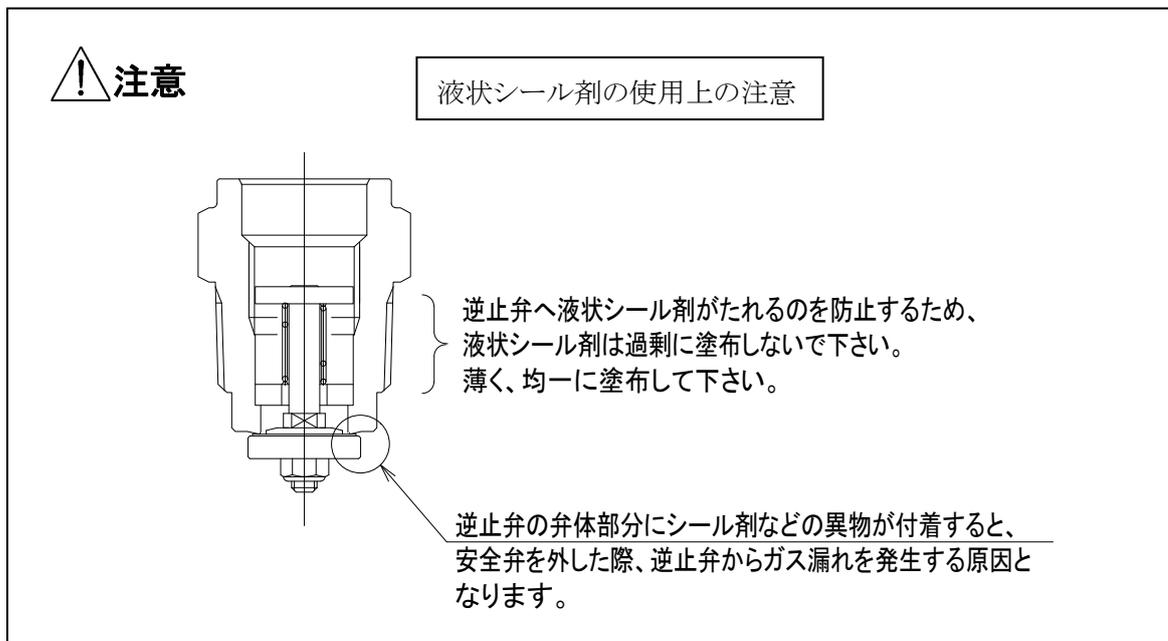
- (3) ネックリングの内径寸法は、逆止弁開の時、弁体周りのガス通路面積を確保するため、下図の寸法として下さい。



2.2 取付方法

連結弁を貯槽に取り付ける際は、以下の手順で行って下さい。

- ① 取付前に、連結弁及び貯槽の取付ねじ部に、傷、打痕等がないことを確認してください。また、連結弁の安全弁接続部（Oリング接触面）に傷がないことを確認してください。
- ② 連結弁ねじ部のシール剤は、耐LPG性のものをご使用下さい。



- ③ 連結弁の六角部にスパナを掛け、適正なトルクで締め付けてください。目安となる締め付けトルクは、次の通りです。
CNV-20 : 3200kgf・cm
CNV-25 : 4000kgf・cm
CNV-40 : 5000kgf・cm
- ④ 安全弁の取付は、バルク貯槽用安全弁の取扱説明書(HM-3043)をご覧ください。

2.3 操作方法

安全弁を取り付けることにより逆止弁が開き、安全弁を取り外すことにより逆止弁が閉止しますので、特に操作の必要はありません。

3 交換方法

連結弁の交換の必要が生じた場合には、以下の手順で交換を行ってください。

- ① 貯槽内にLPガスの残圧がないことを確認してください。
- ② 連結弁の六角部にスパナを掛け、ゆっくり反時計回りに廻し取り外します。
- ③ 貯槽の、取付ねじ部を清掃し、ねじ部に傷、打痕などのないことを確認してください。
- ④ 「2.2 取付方法」に従って、新しい連結弁を取り付けてください。



注意

LPガスの残圧が貯槽内に残っている状態で連結弁を取り外すのは大変危険です。貯槽内にLPガスの残圧がないことを確実に確認してください。

4 保守・点検

【取り付け前の保管について】

本製品を貯槽に取り付ける前に長期間保管する場合は、梱包を解かず高温多湿の場所を避けて保管してください。

【設置後の点検について】

- ① 連結弁と貯槽の接続部からガス漏れのないことを確認してください。
- ② 安全弁取付後、安全弁と連結弁の接続部からガス漏れのないことを確認してください。
- ③ 液化石油ガス法等の管轄下で使用されるバルブは、法規上の規定に基づき自主点検、定期保守点検を実施してください。

保証期間等に関係なく、製品に異常があった場合は、修理又は新品との交換を行ってください。なお、修理には適正な工具、資材及び技能を必要としますので、メーカー修理をお勧めします。

本製品についてのご質問、及び定期点検のご相談、ご依頼は下記の営業所までご連絡ください。



本 社	〒104-0061	東京都中央区銀座西 1-2	(TEL) 03-3535-5575	(Fax) 03-3567-6834
甲 府 工 場	〒400-0206	山梨県南アルプス市六科 1588	(TEL) 055-285-0111	(Fax) 055-285-7175
札幌営業所	(TEL) 011-786-1110	(Fax) 011-786-1120	名古屋営業所	(TEL) 052-951-3860 (Fax) 052-951-3862
仙台営業所	(TEL) 022-295-4670	(Fax) 022-295-4671	大阪営業所	(TEL) 06-6541-8711 (Fax) 06-6541-8718
東京営業所	(TEL) 03-3535-5571	(Fax) 03-3567-6834	九州営業所	(TEL) 093-921-0981 (Fax) 093-921-0984